

幼児の服装について (2)

東京女子高等師範學校教授

成 田 順

前一月號に幼児服の概要について述べ、子供服に對する一般の考へ方・色・柄・地質・型の選び方について希望を書いたが、本號には其の裁縫に關して記すことに致しました。

子供服の裁縫はなるべく手輕に簡單にしかも丈夫に考へていたゞきたいのです。時間をかけて手ぎれいにするのも結構なこゝではありますが忙しい時にはそれ以上に手早にしつかり丈夫に仕立てるこゝがより一層必要なこゝであり、實用的に結構なこゝと思ふのであります。それ故型を選ぶにもなるべくさつぱりした簡單なもの、之が裁縫にも出来るだけ手輕に、例へばポケットにしても複雑な蓋附のもの或は箱ポケットの如きものよりむしろ手輕に出来る縫ひ附けのポケットでよいと思ひます。又襷の細かいものは見た所から美しくしいには相違ありませんが、作るにも手入

をするにもなか／＼面倒でありますから晴着は格別(晴着の必要は認めて居りませんが)平常着ならばなるべく手輕に整理の出来るものでありたいを考へて居ります。

次に型紙の作り方について申上げます。型紙の作り方にはいろ／＼な方法がありまして手早く簡單に出来るのもありますが今迄の多くは大人の服の裁方を殆んぎ其まゝに、寸法のみ小さくすればよろしいやうに考へてゐた向もないでもありません。それ故洋服はむづかしいもの家庭等で作るものでないと思つて居るのもあるやうですが、此點は最も簡單にしかも合理的に考へて生徒に試みさせてをるのであります。さうか皆様も憶劫がらずお子様のために一つお作りになつてほしいと思ひます。

必要な寸法

胸圍 胸の廻りの寸法をはかります。

下着の時は裸體で上着の時は下着を着た上から。夏物は下着があまり影響しないが冬物は下着が厚いから可なり影響いたします。外套・ケープの類は上着を着た上からゆつくりをはかります。

身長 頭から踵迄の寸法。

服の丈は身長から割出すこも出來ますがお子様が側にお出でならば丁度よい寸法を實際にはかつてほしいのです。小さい子供の服の丈は短い方が輕快でよろしいのですが子供は成長が著しいから此點も考へねばなりません。普通は先づ膝迄を致してをります。

袖丈 肩から手頸迄の寸法。

これも身長から割出すこも出來ますが子供によつて身長は等しくても、手の長さに可なり差のあるものですからはかつた方がよいと思ひます。

以上の外特に腹の大きい子供は腹廻りをはかり、ズボン半ズボンの爲には臀廻りをはかります。

其他身體各部の寸法をはかる人もありますが子供の服を

作るのには大して必要がないを考へてをります。

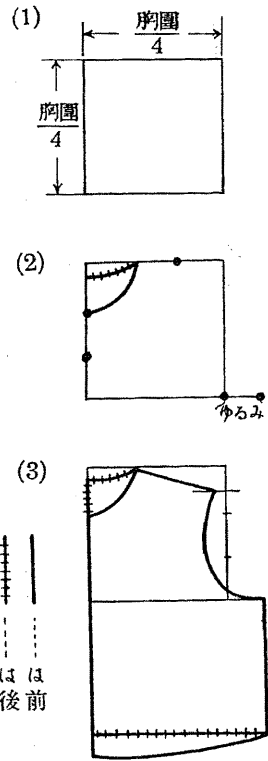
1、胸の原型

製圖の順序

- 1、胸圍の1-4を以て正方形をかきます。(圖(1))。
- 2、正方形を縦と横とに三等分し、其の1-3をさり前衿ぐりを定めます。後衿ぐりは一、二浬(約三分)程くりまます。(圖(2))。
- 3、肩下りを圖(3)に示すやうに胸圍の1-4の1-6をします。
- 4、ゆるみはスタイルにより好みによつて隨意であります。普通は全體で十二浬(凡三寸)乃至十六浬(凡四寸)を入れます。原型は1-4の製圖ですから三浬乃至四浬を入れます。
- 5、次に肩幅を(圖) $\frac{1}{4} \times 10 \times \frac{1}{2} \times 1$ として定めます。
- 6、袖ぐりを肩先より凡そ一浬内側に中央の邊でくり圖(3)のやうに引きます。
- 7、次に背丈を胸圍の1-2に取り、前下りを二浬程つけます。

此の原型の製圖は全部出來上り線であります。

1 圖



製圖の順序

1、A Bは袖丈(身長)の $\frac{3}{10}$ 乃至 $\frac{3}{10}$ (前)にも申したやうに實際にはかつたのがよろしい。

2、A Cは山の高さ(袖ぐりの $\frac{1}{6}$ 乃至 $\frac{1}{4}$)

3、A D及びA Eは袖ぐりの $\frac{1}{2}$

注意

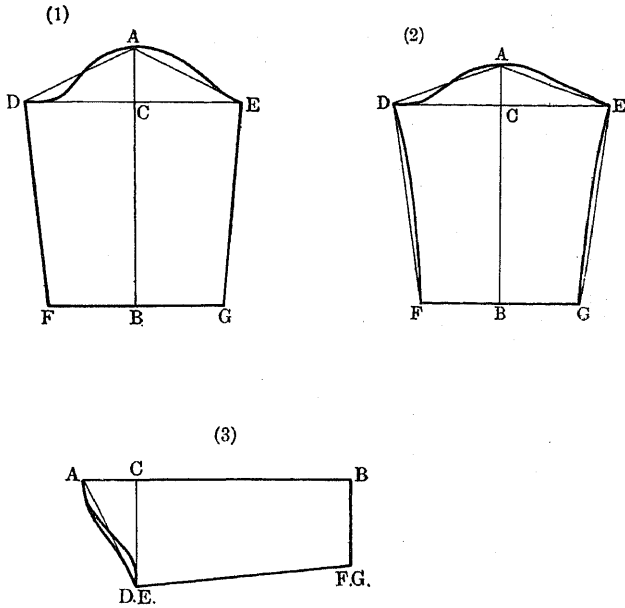
衿ぐり 此の衿ぐりは頸廻りに接した線であり、ま
ら、衿ぐりの形により適當に斟酌せねばなりません。ま
た五、六歳以下の子供は比較的頸が短いから此割合では
小さすぎるかも知れませんので胸圍の $\frac{1}{10}$ を衿ぐり
定めるのがよいかと思ひます。

2、袖の原型

身頃の袖ぐりをはかりそれを基として袖の製圖を致しま
す。身頃の袖ぐりの線は出來上りですが、くれてをりま
すから之を正しくはかるには巻尺(又はテープ)を立て、
致します。

(斜線の寸法)これは何れの場合も變りありません。袖ぐ
りの形は圖のやうに前の方はA Dの中央で斜線を合ふや
うにくり、後の方はA Eの $\frac{1}{4}$ 位の所で斜線合ふやう
にくります。

圖(1)は晴着用であつて山が高くて袖の幅が狭く圖(2)
は山が低くて袖幅が廣いから運動着として適當でござい
ます。即ち袖の山が高ければ高い程袖幅は狭くなります
が着た形はよく見えます。袖の山が低ければ低い程幅は
廣くなりますから運動に便になります。それ故子供用と
しては外套晴着を除く外はなるべく山を低くして幅をゆ
つくり取るのが使用の目的にも叶ふわけです。



4. F Gは袖口(出来上り袖口にゆるみを加へたもの)。袖下の線はD F, E Gになりますが袖幅が廣くてあまり

にだぶつく時には圖(2)のやうに内側へ少しくります。圖(3)は袖を横に製圖したのであります。

以上は極簡單に胴ミ袖ミの原型を記したのであります。實物を作るには之を充分活かして用ひてほしいのであります。私としてはこれを基本として下着も裁ち上着も考へエブロン外套に迄及ぼしたいと思つて居ります。あまり抽象的にかきましたので或は理解しにくい點もありませうが追々に如何に活用するかを申上げたいと思つて居ります。

新聞雜誌等にかいてあるのを見ます。其物即ち或る大きさの物は其通りに直ちに出来て都合がよさうにも思はれますが、年齢がちがひ大きさが異なる。何れの部分を如何に変更すればよいか。わからないのであります。又形が異なる。一々教はらなければ出来ないやうですが、これでは甚だ不便でありますからなるべく基本になる點を説明して。あは皆様の頭で考へてほしいのであります。